

避難指示が解除された

6.6 浪江町線量測定報告会

測った・見た・聞いた 浪江町の放射能は いま



福島県浪江町の、海に近い「避難指示解除準備区域」(図の水色地域)、「居住制限区域」(黄色地域)は3月31日、避難指示が解除されました。政府は「20mSv 帰還政策」を進めています。避難指示が解除された区域の空間線量は、いったいどのくらいなのでしょう？

私たちは5月に浪江町に行き、空間線量を測定してきました。常磐線「浪江」駅西側、浪江町の繁華街だった川添地域では6 mSv/年を超えていました。一般公衆の線量限度1 mSv/年をはるかに上回り、管理区域(5.2mSv/年)に相当する汚染度です。モニタリングポストは空間線量を低く表示し、住民はほとんど帰還していませんでした。

私たちが測り、見て、聞いてきた「浪江町の放射能は いま」を報告します。

測った・見た・聞いた 浪江町の放射能は いま

6月6日(火)

午後6時半～9時15分

めいだい

文京区・アカデミー茗台・学習室A

地下鉄丸の内線「茗荷谷」駅下車、「春日通り」改札を出て右折、春日通りを右へ徒歩8分、茗台中学校と同じビル隣の入口から7階へ

<報告>

「浪江町避難指示解除地域の空間線量」

温品惇一

「浪江町で見聞きしたこと」瀬川嘉之

「記録動画上映」映像班(予定)

「測定のうしろで撮った写真と会った人」

O.ちゑ

「福島の被災農家と農業はどうなるのか」

小川昌之

参加費：500円

申込先：anti-hibaku@ab.auone-net.jp

電話：090-3577-4844 (温品;ぬくしな)

